

「災害の教訓を忘れない」

～東日本大震災・紀伊半島大水害の記録パネル展～



平成23年3月11日に発生した東日本大震災から2年が経過しました。また、平成23年8月に発生した台風12号の記録的な豪雨により紀伊半島では大水害になりました。これらの災害では、多くの尊い命と財産を奪い去り、山、川、道も大きな被害を受けました。被災地では、今なお、復旧・復興にむけ懸命な作業が続いています。

近畿地方整備局では、これらの災害に対して、自治体支援としてTEC-FORC(緊急災害対策派遣隊)等を派遣するとともに、全国の地方整備局からも多くの技術者が集結し、様々な対策を行いました。

本パネル展は、「命の道を切り開き」、「水の道をつくり」、復旧や市町村支援に挑んだ記録です。

パネル展が地域の防災力向上のため、また、明日への備えの一助となれば幸いです。

- ・パネル展示場所: 滋賀国道事務所 1階フロアー
 - : 道の駅「竜王かがみの里」
 - : 道の駅「藤樹の里あどがわ」

「滋賀国道事務所」



「藤樹の里あどがわ」



「竜王かがみの里」

